第1内科学各論

【Allergy, Immunology, Rheumatology, Infection, Endocrinology and Metabolism】

担当責任者（医学部長）

ねらい

アレルギー性疾患、全身性自己免疫疾患（膠原病、リウマチ性疾患）、免疫不全症、感染症の病因と病態を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法、及び治療法を習得する。

殊に、発熱・全身倦怠感や関節痛などの全身症状や所見、全身の多臓器障害をもたらす症状と所見を、横断的、且つ多角的に習得することが要求される。また、病態形成に中心的な役割を担う分子を標的とした分子標的治療を論理的に理解する。

下垂体・甲状腺・副腎等のホルモン異常による内分泌疾患と糖尿病を中心とした代謝性疾患の病因、病態生理を十分に理解した上で、これらの疾患に関する正しい診断法及び治療法について習得することを目標とする。

さらに、症例からその病態と内分泌異常の関連、疾患の鑑別、診断法、治療法について学び、かつ具体的な診断のプロセスについて検討して内分泌代謝疾患の臨床を習得することを目標とする。

いずれの講義も、モデルコアカリキュラムのみならず医師国家試験出題基準にも照合した教育プログラムを立てている。

学修目標

1. 免疫監視機構の概念と、それらの異常・不均衡をもたらすアレルギー性疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の病態機構を理解する。(II-1, II-5, II-6, II-10)
2. 各種病原体による感染の成立、感染予防、感染対策を列挙することができる。(II-1, II-5, II-10)
3. アレルギー疾患・自己免疫疾患・免疫不全症・感染症の症状、理学的所見、検査法、診断法、鑑別診断を系統立てて列挙し習得する。(II-5, II-6, II-10)
4. 感染症については、新型コロナウイルス感染症などを含むウイルス感染症の予防（ワクチン）、診断、検査、治療の基本、ワンヘルスの概念も習得する。(I-1, I-5, II-5, II-6)
5. これらの疾患群間に併発する病態、治療に用いる薬剤との相互作用、これらの疾患群をもたらす多臓器障害について系統的・多角的に理解する。(II-5, II-6, II-10)
6. これらの疾患群、疾患群間に併発する病態の治療法を系統立てて列挙し理解する。(II-5, II-6, II-10)
7. ホルモンの概念、生理作用、作用機構、その調節を理解し、ホルモン分泌、作用異常と病態との関連性について学ぶ。(II-1, II-5)
8. 内分泌疾患でない病態へのホルモンの関わりあいについて理解する。(II-1, II-5)
9. 症例から病態、疾患の鑑別、診断、治療についての思考方法について学ぶ。(II-5, II-6)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

科目試験（100点満点換算）の結果を基に出席状況等を加味し、A、B、C、D、Fの5段階評価で総合的に判断する。

○教科書

Jamesonら編：Harrison's Principles of Internal Medicine 第21版 2022年 McGraw Hill出版
矢崎義雄編：内科学 第12版 2022年 朝倉書店

○参考書

1. 日本リウマチ学会編：リウマチ病学テキスト改訂第3版 2022年 南江堂
2. 日本アレルギー学会編：アレルギー総合ガイドライン2022 2022年 協和企画
3. 谷田憲俊編：感染症学 改訂第四版 2010年 診断と治療社
4. 日本糖尿病学会編：糖尿病ガイド 2021～2022 文光堂
5. 寺本民生、片山茂裕 編集：内分泌・代謝学 メディカルレビュー社
6. 成瀬光栄、高橋 裕、田上哲也、竹内靖博、田辺晶代 編集：内分泌代謝疾患Clinical Question100 診断と治療社

年月日	曜日	時限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.11	金	7・8	膠原病各論 I (全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群など:医師国試出題基準XI-2-A~B)	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
4.14	月	7・8	感染症各論 I (細菌感染症)・ワンヘルスの概念(XII-1-5)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
4.16	水	1・2	膠原病各論 III (関節リウマチ:XI-2-R)	PS	03	02	01-05	中山田 真吾
4.23	水	1・2	甲状腺がん(X-2-H~K)	PS	02 03	14 04	01-05 18	鳥本 桂一
4.25	金	7・8	副腎皮質・ステロイドホルモン(X-3-A)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
4.30	水	1・2	感染症各論 II (ウイルス感染症)ウイルス感染対策・新型コロナウイルス感染対策(XII-1-5)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
5.7	水	1・2	感染症各論 III (真菌感染症、性感染症、院内感染など)(XII-1-5)	PS	03	03	01-18	鈴木 克典
5.21	水	1・2	感染症各論 IV (寄生虫、プリオン、その他の病原体)(XII-2-5)	PS	01	03	13, 26	清水 少一
5.28	水	3・4	原発性・続発性免疫不全症(XI-3-A~O)	PS	01	03	27	齋藤 和義
6.11	水	3・4	糖尿病:病因、病態生理(VI-10-G)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
6.18	水	3・4	アレルギー性疾患各論(全身性アレルギー、食物アレルギー、アナフィラキシー)(XI-1-A-C)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
6.26	木	7・8	糖尿病:UP DATE(X-5-A)	PS	02	14	01-05	西田 啓子
7.1	火	7・8	糖尿病:慢性合併症(VI-10-G)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
7.2	水	1・2	甲状腺中毒症(X-2-A)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
7.8	火	5・6	膠原病各論 IV(全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群):XI-2-G~P)	PS	03	02	01-05	宮川 一平
7.9	水	1・2	ナトリウム代謝異常(X-3-D, E)	PS	02	14	01-05	鳥本 桂一
7.15	火	5・6	膠原病各論 V (悪性関節リウマチ、脊椎関節炎等のリウマチ類縁疾患、成人スチル病、IgG4関連疾患など:XI-2-S~AC)	PS	03	02	01-05	宮川 一平
7.16	水	3・4	アレルギー性疾患各論(呼吸器アレルギー、皮膚・粘膜アレルギー)(XI-1-A-C)	PS	03	02	01-05	園本 格士朗
7.23	水	5・6	副腎皮質(X-3-B, C)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
7.28	月	7・8	副腎髄質・MEN(X-3-H, J, 4-C)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
7.29	火	1・2	下垂体疾患(X-1-E~I)	PS	02	14	01-05	田中 健一
7.30	水	7・8	糖尿病:治療(X-5-A)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
7.31	木	7・8	糖尿病性昏睡の実際(X-5-B, C)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
9.3	水	7・8	メタボリックシンドローム・肥満(VI-10-A)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.4	木	7・8	性腺・性分化異常(X-3-F, G, 4-A, B)	PS	02	14	01-05	柳瀬 敏彦(学外)
9.9	火	7・8	糖尿病性昏睡(X-6-A~C, E)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
9.10	水	5・6	低血糖(X-5-E)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.12	金	7・8	カルシウム代謝異常(X-2-L)	PS	02	14	01-05	田中 健一
9.16	火	5・6	痛風・その他代謝疾患(X-6)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.17	水	5・6	カリウム代謝異常(X-2-B, C)	PS	02	14	01-05	隅川 舞子
9.19	金	7・8	骨粗鬆症(X-6-AA)	PS	02	14	01-05	田中 健一
9.22	月	7・8	グルココルチコイド過剰症(X-3-A)	PS	02	14	01-05	肥川 健司
9.24	水	5・6	膠原病各論 II (強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、混合性結合組織病、Sjogren症候群など:XI-2-C~F)	PS	03	02	01-05	久保 智史
9.30	火	5	科目試験					